



各地で開催！ 神明祭

1月から2月にかけて、市内各地で神明祭が開催されました。地域ごとに特徴がある神明祭。あなたの住む地域はどんな祭りでしたか？

榎町では、神明さんを台車に乗せ、地域の人が押して歩く姿が見られました。先頭では、子どもたちが縄で引つ張り、11mもある大きな神明さんが、路地を通っていきます。

太鼓の音色と共に移動する神明さん。道を曲がるのも一苦労ですが、家の前を通る神明さんに無病息災をしつかり祈ることができます。

新庄町の国道432号沿いにも、神明さんが登場。

葛子地区の神明祭では、点火時刻が近づく、寒い中、ぞろぞろと人が集まってきました。小さな子どもから高齢者まで、幅広い年代の人たちに見守られ、神明さんが燃やされました。竹原小学校では、今年で第31回を迎える竹小まつりが開催されました。

地域の人たちが協力して神明さんを作った1月30日は、雪が降っていました。寒い中作られた神明さんには、児童の夢の実現や家族の健康を願う絵馬が飾られました。神明さんが燃やされると、煙にのって、願いは天に昇っていきました。



竹原小学校：地域の協力のもと開催。縄で神明さんを動かします。



葛子：道路沿いに登場。地域の人が見守る瞬間まで見守ります。



榎町：神明さんを台車に乗せて、地域を回ります。

2月18日、竹原西小学校で、ふるさと納税を活用した竹原っこ夢プロジェクトが行われました。

竹原西小学校では、6年生の「竹原の良さをもっと知ってほしい」「地域のことをもっと知りたい」「ふるさとを大切にしていきたい」という夢を実現するため、ふるさと竹原の良さを紹介するビデオづくりに取り組みました。

「町並み保存地区」、「竹原の伝統的な楽器」、「賀茂川の自然と歴史」、「竹原のぶどう」について学んだ6年生。当日は、下級生やお世話になった地域の人、保護者のみなさんが見守る中、取り組み成果を発



ビデオは3月1日から、道の駅たけはら2階の観光情報コーナーで公開しています。（※公開は不定期ですので、ご覧になりたい場合は、スタッフにお声をかけてください。）

ふるさと竹原の良さを伝えたい ～竹原っこ夢プロジェクト in 竹原西小学校～

表し、ビデオを上映しました。思わず笑ってしまうシナリオ、実は知らなかった竹原の良さ。児童が一生懸命作ったビデオに、観客からは拍手が送られました。

6年生の重田涼輔くんは、「ビデオ制作など、したことのない体験ができました。僕たちがつくったビデオで、竹原の良さを知ってもらいたいです。」と話してくれました。

また、ビデオ制作に協力したたけはらケーブルネットワークの根葉丈太郎さんは、「児童のアイデアをもとに、制作したビデオ。竹原の良さが120%伝わる作品になっている。」と、児童の頑張りを称えました。



絵本作家 中通小学校で読み聞かせ

1月24日、中通小学校で絵本作家の長谷川義史さんによる講演会が開催されました。「いいからいいから」「うえへまいりまあす」などのユーモラスでおおらかな作品で知られる長谷川さん。笑いあふれる読み聞かせで児童を楽しませてくれました。



大乘での朝市の取組みを全国発信！

1月25・26日、東京都の日本教育会館で、JA全国女性大会が開催されました。JA大乘ふれあい市の代表を務める合田朝水さん（JA三原女性部）が、中・四国地区から選拔され、朝市立ち上げの経緯や取組みなどについて発表しました。



児童が市役所で職場体験

1月25日、竹原小学校の6年生が市内で職場体験をしました。市役所で職場体験をした7人の児童は、市長に「昭和の町並みにしてみても」「駄菓子屋さんがほしい」などまちづくりについての個性的なアイデアを発表しました。



「雇用」「就職」に向けて

2月23日、たけはら美術館文化創造ホールで就職ガイダンスが開催され、市内等の事業所31社と就職希望者89人が参加しました。就職希望者は、関心のある企業数社から説明を受け、就職活動の参考にしていました。



たけのこピクルス 大賞受賞！

2月1日～4日、東京ビッグサイトで開催された「第9回グルメ&ダイニングスタイルショー春2011」で、竹原商工会議所から出品のたけのこピクルスが大賞に輝きました。

たけのこピクルスは、市内の商業者や生産者たちによるブランド開発委員会が「地元食材を使った新たな産品を」という思いで、試行錯誤しながら開発した試作品。デザインや味などが総合的に評価され、73品の中からみごと大賞に選ばれました。今後、ブランド開発委員会では、商品化について検討し、さらなるブランド化の推進に取り組んでいきます。



「ことばの輝き」 受章者発表

2月1日、広島市まちづくり市民交流プラザで、広島県教育委員会が行う『「ことばの輝き」優秀作品コンクール』の表彰式が開催されました。

竹原市からは、中学生の部で吉名中学校2年の宮原舞優さんが最優秀賞を受賞。宮原さんは、流星群の観察に出かけた時のお父さんとのやりとりを作文し、その中でお父さんへの親愛を表現したことが評価されました。また、荘野小学校2年の藤原大和くんと3年の下岡海里さんが小学生の部で優秀賞を受賞しました。

学校、家庭、地域での様々な経験が、児童・生徒の豊かな表現力を育んでいます。